



広報

# かつやま

Katsuyama City Newsletter

3月号

No.582

平成16年3月11日発行

早春の芽吹き

CONTENTS

冬山遭難救助  
左義長まつり  
行財政改革大綱  
アクションプラン21  
農業委員会だより

九頭竜河畔のネコヤナギ (鹿谷町保田)





「よくがんばった」と学生たちをはげます救助隊員  
(雁が原スキー場仮設ヘリポート)

## 遭難から救助までの経過

2月7日  
関西学院大学ワンダーフォーゲル部14人が「東山いこいの森」から取立山に入山。

2月7日

13時50分 学生らが遭難したとの無線を傍受した福井市のアマチュア無線家が110番通報。

13時57分 同じく傍受した大野市のアマチュア無線家も勝山市消防本部に通報。

15時25分 市消防本部が、県に防災ヘリの出動要請。

16時30分 視界不良のため、この日のヘリによる捜索を断念。

18時00分 山岸市長が、勝山市、市消防本部、勝山警察署合同の「加越国境冬山遭難救助対策本部」を設置。

20時42分 対策本部長の中村が記者会見。

# 関西学院大学ワンダーフォーゲル部 加越国境冬山登山遭難事故

雁が原スキー場の仮設エアートントで応急手当をする医師ら



現場へ急行する航空自衛隊の救助ヘリコプター



救急車も  
万全の体制で待機



法恩寺山(1356.7m)  
スキーヤム勝山

2月7日午後1時50分ごろ、関西学院大学(兵庫県西宮市)ワンダーフォーゲル部の男子部員14人のパーティーが、勝山市と石川県白峰村の県境にある大長山(標高1671m)山頂付近で遭難しました。

遭難者からの無線連絡を傍受した県内のアマチュア無線家らが、福井県警などに緊急通報。連絡を受けた勝山市は、ただちに市消防本部と勝山警察署との合同の遭難救助対策本部を設置し、陸と空の両面からの救助作戦を展開しました。

遭難現場

大長山  
(1671.4m)

烏岳  
(1476m)

鉢伏山  
(1549m)

取立山  
(1307.2m)

こつぶり山

2月9日午前11時4分、悪天候が続く中、一瞬の晴れ間をつき航空自衛隊と富山、石川、福井3県の県警・防災ヘリの好連携のもと遭難者を次々に救助。14人全員の命を救いました。

雁が原スキー場



23時45分  
ワンダーフォーゲル部監督、コーチらが市役所に到着。

**NEWS**

0時23分  
本部長と監督が合同で記者会見。  
遭難者から、「体力は落ちているが全員無事」の無線連絡が入る。  
福井県警機動隊らによる調査隊が、小原集落から登山開始。

7時36分  
県防災ヘリが福井空港を離陸。  
視界不良のため県防災ヘリは雁が原の仮設ヘリポートに着陸。  
県が「遭難事故連絡室」を設置。  
機動隊らの調査隊引き返す。

10時45分  
関学大副学長らが勝山市に到着。  
西川知事が自衛隊に災害派遣要請。  
自衛隊飛行機とヘリが小松空港を離陸。ヘリは視界不良のため引き返す。

14時00分  
遭難者家族らが勝山ニューホテルに到着。富山県山岳救助隊派遣要請。  
副学長、監督らが家族に対し現状説明。  
14時20分  
対策本部会議。

15時09分  
対策本部長が本部会議内容を発表。この日のヘリによる捜索を断念。  
15時32分  
対策本部長記者会見。

4時30分  
「雪洞の2つが埋まった」と、遭難者からの無線連絡がある。  
15時40分  
陸路救助先発隊出発(県警・関学ら)陸路救助後発隊出発(陸上自衛隊)対策本部会議。

6時40分  
雁が原に救急車、医師が待機。甲南大学生も応援待機。  
10時00分  
県警ヘリが現場上空で手を振る14人を発見。

11時04分  
自衛隊、富山県防災、石川県警、福井県警、福井県防災各ヘリの連携により14人全員を無事救助。救急車による病院搬送。  
14時38分  
救助完了。

# 14人の命

遭難者14人を全員無事に救出することができ、市長として大変安堵しました。

救出成功の要因は、アマチュア無線家によって遭難が早くわかったこと、福井、石川、富山3県および航空自衛隊による5機のヘリコプターの連携が高い機動力を発揮したこと、そして霧の中わずか数十分間の晴れ間に恵まれ、そのチャンスにヘリが飛べたこと、などが挙げられます。

そして忘れてはならないのは、この空からの救出劇の背後に、雪の山に出発した勝山警察署、陸上自衛隊、県警、地元山岳会、山岳救助隊による陸路からの救出隊があったこと、また、防災と医療チームによる救護体制、複数の消防本部の救急車による搬送、病院側の迅速な収容と処置体制、山岳会の積極的な行動協力など、官民挙げての協力体制があったことだと思います。

今回の学生たちの行動が厳冬の加越国境を甘く見たスキー登山であったことは否めませんが、その後、大学側からは謝罪や感謝の意などの真摯な対応がありました。

また、民間業者への支払いが必要な経費については、関西学院大学ワンダーフォーゲル部の責任で支払いをしたいとの申し出があったため、検討のうえ、200万円をお預かりしたところです。

白山を目前にできる残雪期の加越国境は、登山や春山スキーに人気があります。このたびの遭難を教訓に、多くの人に安全に楽しむもらえるような確かな登山情報を発信するなど取り組んでいきます。

勝山市長 山岸正裕

救助活動に感謝する関学学長ら



記者会見場で謝罪する学生たち



救助に全力をあげた対策本部(勝山市役所)





# 蝶 よ 花 よ

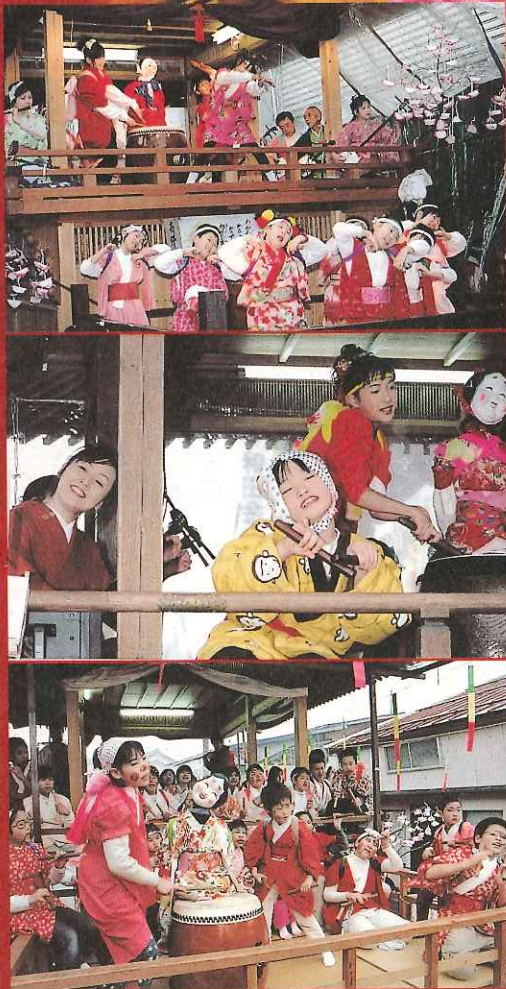


# 左義長まつり

奥越に春を告げる「勝山左義長まつり」が、2月28日・29日に行われました。

各町内に設けられたやぐらの上からは、笛や三味線のお囃子にぎやかに響き、楽しいしぐさで太鼓をたたく子どもたちの姿に、訪れた見物客らは目を細めながら見入っていました。

祭りムード一色に染まった2日間とともに冬が終わり、いよいよ勝山にも春がやってきます。



下後区やぐらの「一番太鼓」で、祭りの幕が明けました。



子どもたちの楽しげな姿に、大人たちも浮かれ気分！



## 第20回行燈コンクール結果

勝山白絹番傘川柳会長賞	下後区
勝山左義長まつり実行委員長賞	上長洲区
優秀賞	下長洲区
勝山観光協会会長賞	富田区
勝山商工会議所会頭賞	芳野区
勝山市長賞	沢区
優秀賞	元町2丁目区
中日新聞社賞	立川区
福井県観光連盟賞	上郡区
優秀賞	上後区
勝山市文化協会会長賞	中後区
勝山市議会議長賞	上袋田区
勝山地区区長会長賞	下袋田区

## 第51回作りものコンクール結果

勝山市長賞	下後区
勝山壮年会連合会長賞	中後区
勝山商工会議所会頭賞	上袋田区
審査員特別賞	上郡区
勝山観光協会会長賞	立川区
福井新聞社賞	元町2丁目区
福井県観光連盟賞	沢区
勝山地区区長会長賞	芳野区
勝山文化協会会長賞	富田区
勝山市議会議長賞	下長洲区
勝山左義長まつり実行委員長賞	下袋田区

## 第34回子どもばやしコンクール結果

勝山市議会議長賞	下後区
勝山市長賞	上長洲区
勝山左義長ばやし保存会長賞	下長洲区
勝山商工会議所会頭賞	芳野区
勝山市連合婦人会長賞	沢区
勝山観光協会会長賞	元町2丁目区
勝山青年会議所理事長賞	立川区
福井テレビ社賞	上郡区
勝山地区区長会長賞	上後区
勝山市子ども会育成連絡会長賞	中後区
中日新聞社賞	下袋田区

ユーモアあふれる「作り物」や、「行燈」が通りを行く人の目を引きま

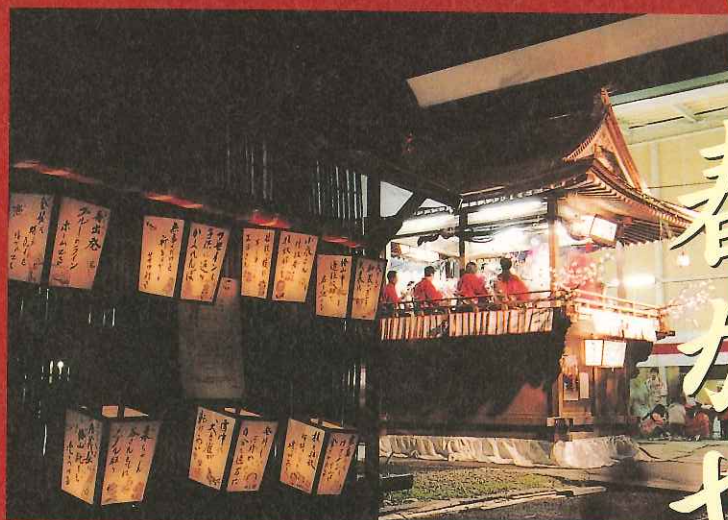


えちぜん鉄道勝山駅では、電車から降りる見物客に「ふるまい酒」のサービス。



保育園児も「浮いた浮いた〜」

日が暮れると、行燈や「押し絵」にも灯が入り、祭りムードは最高潮に。



浮かれて  
春がやってくる

祭りのフィナーレ「ドンド焼き」が29日、九頭竜河原で行われました。  
14基の御神体にたいまつ火が入れると勢いよく燃え上がり、炎が夜空を赤く染め上げました。集まった見物客らは炎であぶった餅を食べながら1年の無病息災を祈願しました。





# 勝山市行財政改革大綱を全面改訂

いま、  
見つめ直すとき

## 勝山市の未来像

市は2月25日に平成24年度を目標年次とする「勝山市行財政改革大綱」改訂版を公表しました。

この大綱は、昨年5月に組織した庁内行財政改革プロジェクトチームと8月に組織した行財政改革委員会とが合同で改訂作業を進めてきたものです。

本年1月から2月にかけて勝山市総合行政審議会に対して素案を説明し、審議会の意見を反映したうえで策定したものです。

すでに2月には市議会への事前説明を終え、今後は市民のみなさんとともに勝山市の未来を見据えた行財政改革を推進していきます。

- ### 1 3つの基本方針
- (1) 人口構成の変動に備えます  
出生数の低下と高齢化がこのまま進めば、約10年後には、子ども数は3分の2に減り、高齢者の数は1・5倍に増えます。  
予想される人口構成の変動に備えて市の施策を大きく変えていきます。
  - (2) 日本の構造改革に対応します  
国からの補助金や地方交付税が減らされたため全国の市町村の財政が悪化

- (1) 事務事業の見直し  
約300の事業について廃止や見直しをしていきます。  
子どもの減少に合わせた市立保育園のあり方、子どもの立場に立った小中学校の統廃合を検討していきます。
- (2) 組織機構の見直し  
今後10年間で52人の市職員を減らし、人件費を15%削減します。  
市職員の勤務評価制度の導入や人材育成の推進により、簡素で効率的な組織づくりを進めます。

していきます。  
今後も続く国の構造改革に対応し、安定した財政状況の勝山市を維持していきます。

- (3) 行政と市民との新たな関係を  
つくり直します

市は民間と競合するサービス事業から撤退し、民間の活力を生かしていきます。  
行政と市民・各種団体・自治会との新しい関係をつくりあげていきます。

### 2 3つのテーマ

- (1) 事務事業の見直し

約300の事業について廃止や見直しをしていきます。

子どもの減少に合わせた市立保育園のあり方、子どもの立場に立った小中学校の統廃合を検討していきます。

- (2) 組織機構の見直し

今後10年間で52人の市職員を減らし、人件費を15%削減します。

市職員の勤務評価制度の導入や人材育成の推進により、簡素で効率的な組織づくりを進めます。



### (3) 効率的な財政運営

効果があいまいな運営補助金、団体の自立を妨げている育成補助金を廃止します。

政策評価システムの導入、施設の活用、自主財源の確保などを進めます。

### 3 これからの進め方

大綱を進めるための実施計画を策定します。その後、市民対話集会や地域別の住民懇談会などを通じて市民のみなさんに対し、行財政改革について説明していきたくと考えています。

特に大きな課題については、市の未来像や将来の計画を示しながら、市民のみなさんの参加による検討委員会でも論議していきます。

また、市では行財政改革の目的を達成するため、大綱の進捗状況を継続的に管理していく予定です。



ふるさと元気博物館

### エコミュージアム ニュース

#### 「北谷冬物語」

勝山市エコミュージアム協議会は、2月16日、北谷町谷の伝統行事「谷のお面さんまつり」に合わせ「北谷冬物語」



と題した体験事業を行いました。

市内から参加した20名の親子らが、地区のみなさんといっしょに雪像づくりや、北谷に古くから伝わる民具（わらぐつ・ぞる板（ソリ））の体験などを楽しみました。雪の降りしきる寒い日でしたが、心温まる一日となりました。

#### 昔懐かしい水車小屋が

#### 野向町に復活

野向町まちづくり推進委員会で、このほど水車小屋を復活整備しました。これは、宝くじの収益金を活用した「平成15年度一般コミュニティ助成事業」によるものです。水車小屋は昭和30年代ごろまでは



精米やワラ打ちなどに盛んに使われていましたが、現在では見るのが少なくなりました。

この水車小屋では、地区のみなさんが利用するほか、農業体験希望者を募集し、地域間の交流も行うべくそうです。

### 木のやさしさ、温かさがいっぱい

#### 遅羽児童館が完成

#### オープンは4月1日

市が遅羽町大袋に建設を進めていた遅羽児童館がこのほど完成しました。同施設は木造平屋建ての床面積265平方メートルで、総事業費は約4千4百万円。

館内には、遊戯室や図書室、児童クラブ室、集会場などが備わり、施設全体は木のぬくもりが感じられるよう配慮された造りになっています。

す。

2月14日には山岸市長をはじめ地域の児童らが出席して落成式が行われ、完成を祝いました。

4月1日以降の休日や放課後には、児童に対する遊びの指導などをするほか、地域の交流の場としての利用も進めていきます。

問 民生児童課（管内線504）





## 「ひとあしお先」の

### 左義長まつり

2月に入り、市内の各幼稚園・保育園では、地域や左義長保存会などの協力のもと、左義長まつり本番に向けた太鼓練習が行われました。

毎年、まつり本番の各々々では園児らによる太鼓演奏が行われており、練習はそれに向けて行われたものです。

本番が近づいた2月中旬になると、各園では、左義長の雰囲気や「ひとあしお先」に味わうために、施設への太鼓演奏慰問や左義長縁日などが行われ、これまで練習を重ねてきた園児らは本番さながらのかわいいバチさばきを見せていました。



保育園ではひとあしお先に「さぎっちょまつり」  
(北保育園)

## 自然の風合いを

### 地元繊維にのせて

（駒奥越地

地域場産業

振興センタ

ーと勝山市

繊維協会は

このほど、

市民による

「手染めの

会」を結成

しました。

これは、

市民に地域

産業の繊維に親しんでもらい、伝統の手染め

技術を地元繊維に活用し「繊維のまち勝山」

をPRしようと企画されたものです。

2月20日に同センターで行われた発会式に

は、市民を中心に36人の登録会員のうち

26人が参加。式典後に開かれた第1回例会で

会員らは、上志比村で染め工房を運営してい

る石川雅夫さんの指導のもと、煮つめたサク

ラの木やドングリを染料に、同センターが開

発した和紙から作った「和紙布」などをやさ

しい風合いに染め上げていきました。

同会では今後、染め方などの研究を進め、

製品化をめざします。



和紙布の草木染めに挑戦する参加者たち

## 早春の

### アスペンコンサート

勝山市の友好都市、米国アスペン市の一流音楽家による「かつやま・アスペン友好コンサート 早春コンサート」(かつやま音楽交流協会主催)が今年も開催されました。

今回勝山を訪れたのは、デンバー・ディルさん(トランペット)とレベッカ・ウィルトさん(ピアノ)。お二人は、勝山に到着した24日から、市内小中学校でのミニコンサートや公開指導を行うなど、市民との交流を深めました。

2月26日に市民会館で開かれたメインコンサートでは、アルベニスの「マジヨルカ」、民謡「五木の子守歌」などを演奏。トランペットとピアノが奏でる旋律が、会場に集まった約250人の聴衆を魅了していました。



メインコンサートで演奏するお二人



# 一人ひとりのプライバシーを守るために

4月1日から、勝山市個人情報保護条例が施行されます。

## 事業者・市民のみなさんへ

この条例では、事業者のみなさんが個人情報（顧客情報など）の保護の重要性を認識していただき、プライバシーを侵害することのないよう努めていただくことを求めています。

また、市民のみなさんにも、自分の個人情報をしっかり管理していただくことと、他人のプライバシーを侵害することのないよう努めていただくことを求めています。ご理解、ご協力をお願いします。

## 請求の方法

個人情報の開示請求は総務課の個人情報窓口で受け付けますので、お問い合わせください。

個人情報の開示請求等は、原則として本人以外はできません。そのため請求者がその個人情報の本人であることを確認できる書類の提示が必要となります。

### ○本人確認のために必要な書類

運転免許証、パスポート、住基カードなど顔写真が添付されているものが必要です。

## こんなときは

市役所または事業所などが取り扱っている個人情報に関してのトラブルや、おかしいと思うことがありましたら、総務課まで、お気軽にご相談ください。

## 個人情報についてのお問い合わせ

総務部総務課（☎内線238）

E-mail:soumu@city.katsuyama.fukui.jp

詳細については、勝山市のホームページをご覧ください。

URL: [www.city.katsuyama.fukui.jp](http://www.city.katsuyama.fukui.jp)

情報化（IT化）が進み、私たちの日常生活はとも便利になってきました。しかし、一方で本人の知らない間にさまざまな情報が収集・利用され、プライバシーが侵害される恐れができています。市では、市民のみなさんの個人情報をより適正に取り扱うためのルールとして4月1日から勝山市個人情報保護条例を施行します。この条例により、個人情報の保護を図り、さらに公正で信頼される市政の推進をめざします。

## 個人情報とは

氏名、性別、生年月日、住所、本籍、電話番号、思想、心身の状況、病歴、職歴、親族関係、所得、財産の状況その他一切の個人に関する情報をいいます。

## 市が個人情報を取り扱うときは…

この条例では、◎市が個人情報を収集するとき

◎市が個人情報を利用・提供するとき

◎市が個人情報を管理するとき

このような場合に、その個人情報の適正な取扱いについてきびしく制限を設けています。

## 個人情報の請求について

本人であれば、市が取り扱っている自分に関する個人情報（個人情報が記録されている公文書の閲覧、写しの交付など）の閲覧を請求することができます。

場合によってはその個人情報の訂正・削除、あるいは個人情報の取扱いの中止を請求することができます。



# 教育に関心を!! 子どもたちは次代を担う地域の宝

## 教育改革『アクションプラン21』の中間報告

新聞、テレビでは毎日のように子どもたちが被害者あるいは加害者になるような事件が報じられています。

私たちが暮らす勝山市においても社会全体で子どもを育てるといった意識や「家庭・地域・学校」における子育てについての力が低下してはいないでしょうか。

子どもたちをすこやかに育てるための環境を守るのは「大人」の責任です。そして子どもたちが抱えるすべての問題は、「大人」にとっても解決しなければならない問題です。

つまり「大人」が教育に関心をもちることが子どもを「活かし、正す」ことにつながり、地域や勝山市の活性化につながっていきます。

今月は、これまでの取り組みを踏まえ、基礎学力の向上や自然体験学習の推進など平成16年度に予定している『教育改革アクションプラン21』に関する計画をお知らせします。

## Part III このまちの未来を見据えて



国指定登録有形文化財「勝山駅本屋(右)とホーム待合所(左)」

「ふるさと」の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、そして今日まで伝えられてきた文化財の数々。  
教育委員会では小中学生から大人まで、すべての市民が文化財の発掘調査やその展示を通じて、ふるさとの歴史や文化にふれる企画を考えていきます。  
講演会や総合的な学習の時間を活用して子どもと大人がいっしょに地域の文化財の価値を再発見し、地域に誇りを持つ、そんなきっかけづくりをめざしていきます。  
また、古代から中世にかけて開かれた「白山禅定道」の本格的な調査を進めていきます。  
白山禅定道は、平泉寺三の宮から白



発掘調査が進む国史跡白山平泉寺旧境内



小原集落奥の白山禅定道(権現産湯の跡)調査風景

山山頂へ登拝するための道として利用されましたが、江戸時代に北合からの道が開かれたことで徐々に廃れ、明治の初めに廃止されていました。  
加越の山々を縦走していた白山禅定道の再発見を通じて白山文化についての再発見をめざしています。

ふるさとの歴史と文化を誇りに



# みんなで歓迎、全国の仲間たち

昨年10月、長尾山総合公園を起点に開催された奥越マラソン勝山大会では、沿道の各所で行われた子どもたちによる和太鼓やブラスバンドのもてなしが好評でした。

今年の10月に予定している「全国スロレク祭」と来年1月の「中部日本スキー大会」には、全国各地から奥越マラソンを上回る参加者がやってきます。

教育委員会ではこれらの大会の成功に向け、手づくりの幟旗のぼりの制作や参加者・選手に対する歓迎の手紙の発送など、子どもたちを中心にして、市民一人ひとりがかかわっていく方法を考えています。

また、私たちは、勝山の自然や特性を生かしたスポーツ、特に気軽に



手づくりの幟旗でおもてなし



たいこ演奏でランナーたちを応援!



スノーシューで長尾山の自然を満喫

参加できるスノーシューやクロスカントリースキーなど、ウインタースポーツの普及を通じて子どもと大人の交流をめざしていきます。

## ブックスタートに向けて



勝山読書会「おはなしでてこい係」のみなさん

ブックスタートをご存知ですか？  
「本をとおして赤ちゃんに保護者が楽しいひとときを分かち合うこと」を目的にイギリスで始まった運動です。

教育委員会では健康長寿課と協力して子どもと大人が本に親しむために「ブックスタート」の活用を考えたいきます。

今年ももぐもぐごっくんの離乳食教室や図書館で乳幼児を対象とした絵本の読み聞かせを予定しています。

ボランティアのみなさんのご協力をいただき、すっかりおなじみになった「絵本の森」や「おはなしでてこい!まつりスペシャル」などを通じて子どもたちが豊かな人間性をはぐくむためのきっかけづくりをめざしていきます。



教育福祉会館での読み聞かせ



物語の楽しさを親子で感じとります

また、読書会や文学に関する講演会を開催して、子どもたちをはじめとする市民のかたがたが本を身近に感じていただける、そんな図書館をめざしていきます。



# 新しい子ども会の運営に向けて



金沢子ども会との交流。兼六園で歴史を学びました

これまでの子ども会活動では、子ども自身ではなくて、親が子どものための行事を企画し、準備をすることが多かったように思います。

これからの時代、子どもたちが主役になって行事を企画して子ども主体の組織づくりを進めることや、OBである中学生の参加が求められています。

そんな新しい時代に合った、子ども会活動の指針をつくるために今年度からスタートした「モデル子ども会育成会事業」活動が実を結びつつあります。

平成16年度には、この事業の成果を市内全域の子ども会活動に広げていきたいと考えています。

また、地区子ども会育成会による連合組織「子ども会育成連絡協議会」の組織改革や育成者による交流会の開催を推進し、新しい子ども会活動を支援



市子連木工教室。くぎよ曲がるな!!

していくための大人の役割を考えていきます。

教育委員会では、文部科学省の「地域子ども教室」事業を活用し、平成16年度から18年度の3か年にわたり、地域ごとの「アクションプラン推進委員会」を市内15か所（校区を基本に年間5か所）に開設します。

事業では、子ども会、PTA、学校が連携をとって地域独自の体験活動プログラムを作成していきます。

また、地域のみなさんの協力をいただき指導員やボランティアを募集して、放課後や週末に学校や公民館など



キャンプのお風呂はドラム缶

の施設を利用していきます。

この事業を通じ、勝山市の将来を担っていく心豊かでたくましい子どもたちを地域ではぐくんでいきます



キャンプの食事はおいしいな。  
外で食べると、自然に笑顔

## アクションプラン推進委員会」を開設

### 小笠原礼法ゆかりのまち

「家庭・地域・学校」で礼儀正しいあいさつをすることは、子どもたちが社会から学ばなければならぬことも大切なことのひとつです。

そして子どもたちをばぐくみ「活かし、正す」ためには、まず大人が子どもの手本になることが必要です。

教育委員会では、マナー講座の開催を通じて小笠原礼法ゆかりのまち「勝山」の特色を生かし、礼儀作法を普及したいと考えています。

平成16年度は、小中学生や高校生を対象にした「子ども向けマナー集」の発行や学校でのマナー講習会を開催

し、子どもたちに正しい礼儀作法を広げていきたいと考えています。



マナーの基本を学びます



# 自然体験学習で豊かな人間性をはぐくむ

平成16年度、17年度の2か年にわたり市内の小中高等学校が連携して文部科学省の豊かな体験活動推進事業に自主参加して活動に取り組むことになりました。

教育委員会では、学校教育の中でさまざまな体験活動が子どもたちの豊かな人間性をはぐくむための大切な財産になると考えています。

そのために、加越国境に広がる緑と九頭竜川水系の水に象徴される豊かな自然を生かしていきます。

特に子どもから大人までが自然に親しみながら体験活動を楽しむために長尾山総合公園を活用していききたいと考えていきます。

自然にめぐまれた長尾山総合公園で、高齢者の豊かな知識と経験を生かし、「子どもたちが体を動かして経験を積んでいく」。こうした自然体験学習の充実が基礎学力の向上と並ぶ『教育改革アクションプラン21』のもつひとつの柱です。



むかしの脱穀体験。こんな道具を使っていたの!!



道ばたの草にも興味しんしん。長尾山での自然観察会

## 基礎学力を向上し社会性をやしなう

平成15年度に2か年継続事業である「学力向上フロンティア校」の研究指定制を受けた勝山中部中学校では、基礎学力の向上を目的に少人数学級の導入や教材の工夫などにとりこんでいます。

平成16年度は、他の小中学校においてもこの研究成果を受け、各学校の特色を生かした基礎学力向上に向けた取り組みを本格化していきたいと考えています。

学校間の協力のもと、各教科、各学

年で身につけなければならない「読み・書き・計算」に加え、「考える力・調べる力・聞く力・まとめる力」といった基礎学力を伸ばしていきます。

「基礎学力の向上をもとに人間として必要な『生きる力』の定着につなげていく」、こうした学力向上に向けた取り組みが自然体験学習の推進と並ぶ『教育改革アクションプラン21』の基礎となります。



先生が二人いるとよくわかります



数学では習熟度に応じクラスを分けて、指導しています



# 青春ing



バングラデシユに井戸を贈ろう！

松田真一郎さん(15)・吉丸春香さん(15)

|| かつやま子どもの村中学校「水の研究センター」 ||

安全な飲料水が不足しているバングラデシユに井戸を贈ろうと募金活動に取り組んでいる「かつやま子どもの村中学校」の『水の研究センター』。

2月26日に教育福祉会館で開かれたチャリティーイベントでは、同センターの松田真一郎さんと吉丸春香さんが水に関する研究成果を発表しました。「バングラデシユの飲み水には皮膚がんの原因になるヒ素がふくまれてい

る」「安全な水を求めるために、学校にも通えない子どもがたくさんいる」と、井戸の必要性を訴えます。

1つの井戸を掘るには日本円で約15万円かかるそうで、今春の卒業までに募金目標の達成をめざしています。

県外出身の2人に勝山の印象をたずねると、「近くの湧き水が最高においしい」「卒業しても離れたくない気持ちでいっぱい」と話されていました。

出会い

ふれあい

あれから45年、みんな元気ですか？

島田 アチ子さん || 荒土町松田 ||

今から45年前の昭和34年4月。中学卒業と同時にふるさと秋田県を離れ、集団就職で勝山市にきた島田アチ子さん。

市内の大手企業が集団就職を本格的に受け入れ始めたのはこの年が最初だったそうです。

電車を降りた時の感想は「予想したよりかなり田舎でした」と当時の心境を笑顔で教えていただきました。

この年だけで、200人前後もの新卒者が島田さんと同じように期待と不安に胸を高鳴らせて勝山駅の改札を通ったそうです。

当時は高度成長期を目前にして、好景気に日本中が沸き返っていた時代で

した。「あの頃の左義長まつりは、東北や九州地方から集団就職のため来た若い女性で本当に華やかでした」と当時の勝山の雰囲気懐かしそうに語っていただきました。

今の勝山についてお聞きしたところ、「落ち着いた雰囲気このまちは大好き。いろんなことがあったけど、勝山で生きてこられてよかった」という島田さん。

そんな島田さんからの伝言です。

集団就職で勝山市にいられて、今もこの町で暮らしているみなさん夏にみんなが集まってみませんか？

連絡先はこちらまで  
沢町2丁目7 喫茶シロップ  
島田アチ子 ☎ 88-3382-1

すてきに人生

